

Banco Sumitomo Mitsui Brasileiro S.A. DAILY MARKET REPORT

BANCO SUMITOMO MITSUI
BRASILEIRO S.A.

Treasury Department

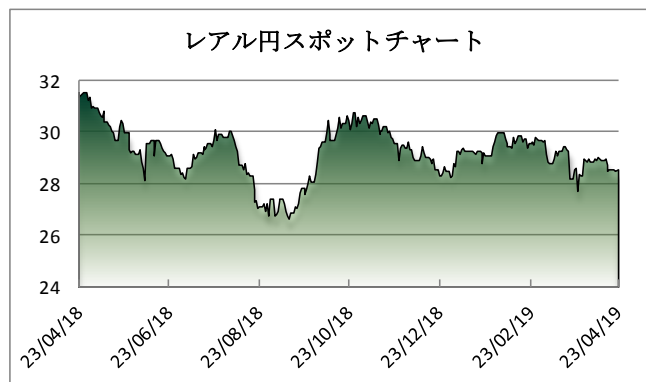
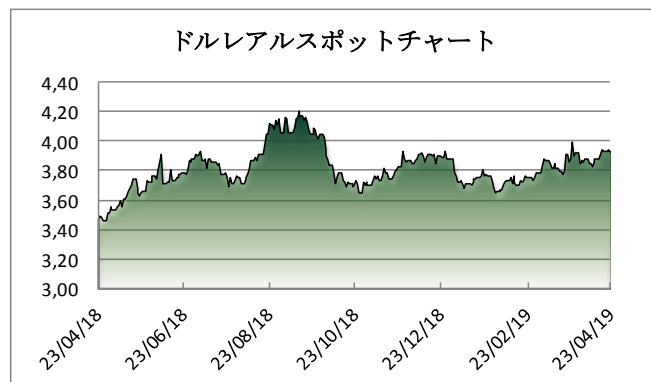
マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、取引序盤に3.96台前半までレアル安が進行する時間帯も見られたが、午後に再開された下院憲法司法委員会(CCJ)で年金法案票決移行の気運が高まると急速にレアル高に転じ、3.92台前半で取引終了。ボベスパ指数も前日比1.4%高を記録しており、無事に最初のステップを通過したことでブラジルマーケット全体がポジティブな反応を示している(欧州と日本に上場しているボベスパに連動したETFもそれぞれ上昇)。CCJで実施された票決は賛成48票・反対18票で、概ね事前に予想された賛成票を確保したが、最終承認に至る道のりは依然として長く、険しい。今回の法案通過がブラジルマーケットのゲームチェンジャーになる可能性は低く、足許の反応も短期的に留まる見通し。次のステップとなる特別委員会は、下院議長であるMaia氏が指揮する予定であるが、早期に委員会を実施するよりも、まずは各政党指導者(特に反対勢力となっている中道政党)との対話を重視する方針を示している。また、特別委員会は一般的に、11-40回の審議が行われることから、同議長の見通しによると、法案票決には60日程度を要する見込み。承認見通しの時期について、Hamilton副大統領は、「8月前後」との見解を示しているが、上下院でそれぞれ2回の票決を行う必要性を踏まえると、第3四半期、あるいは、11月末まで審議がずれ込む可能性をマーケットも既に織り込み始めている。今回のCCJでは、Bolsonaro大統領の議会調整能力の欠如を露呈しただけに、今後のスケジュールも同大統領がリーダーシップを発揮できるかどうか、その能力次第と言えよう。

マーケットデータ

Indicator		Unit	4月22日	4月23日	前日比	1ヶ月前比	(年初来) 高値	(年初来) 安値
レアル	対ドル	BRL	3,9363	3,9216	-0,37%	0,39%	3,6374	4,0158
	対円	JPY	28,44	28,53	0,32%	1,38%	30,08	27,53
	対ユーロ	BRL	4,4310	4,4025	-0,64%	-0,30%	4,1646	4,5069
円	対ドル	JPY	111,94	111,86	-0,07%	1,76%	104,87	112,17
	対ユーロ	JPY	126,01	125,58	-0,34%	1,08%	118,71	127,50
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	94.588	95.923	1,41%	2,33%	100.439	87.536
CDS Brazil 5yrs		bps	170,90	169,20	-0,99%	-4,90%	209,52	149,43
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	8,98	8,85	-1,45%	-3,06%	9,34	8,70
DI Future Jan20 (金利先物)		%	6,44	6,43	-0,23%	-0,85%	6,69	6,32
3 Months US Dollar Libor		%	2,58113	2,58025	-0,03%	-1,14%	2,8039	2,5811
CRB Index (国際商品指数)		Index	187,92	187,58	-0,18%	1,86%	189,68	168,26

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。



<オンブスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。